



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

2005年10月 October No. 281
 Chartered July 20, 1982

主題 YS THEME (2005~2006)

センテニアルクラブ会長：『 発想の転換と共に行動の転換を！』
 国際会長：『 求めるワイズから 行動するワイズへ』
 アジア会長：『 行動するリーダーになろう』
 西日本区理事：『 すずめ、愛と勇気をもって』
 中西部長：『 認め合い、共に歩もう、ワイズたび』

クラブ役員 Club Officers

会 長：石津 雅人
 副 会 長：永島 寧
 書 記：山田 孝彦
 会 計：三浦 直之
 ネット会長：谷川 有美子
 Y連絡職員：鍛冶田 千文

【 Biblical Message of the Month 】

...ところが、サウロが旅をしてダマスコに近づいたとき、突然、天から光が彼の周りを照らした。サウロは地に倒れ、「サウル、サウル、なぜ、私を迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「私は、あなたが迫害しているイエスである。起きて町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことがしらせる」 (使徒言行録 第9章3節~6節)

【 October Club Meeting 】

『 月間テーマ：“BF” 』

10月 第1例会

日時：2005年10月19日(水) 18:30~20:30
 場所：リーガランドホテル 5階 桂の間

司 会 鍛冶田千文君

1. 開会点鐘 石津 雅人会長
2. ワイズソング 一 同
3. ゲスト紹介 石津 雅人会長
4. 聖句朗読 谷川 寛君
5. 日々の糧・晚餐 一 同
6. 04年度決算報告・05年度予算案の審議
石津 雅人会長 三浦 直之会計
7. 卓 話「ファンド事業について」
西日本区ファンド事業主任 オードリ・ギルグ氏
8. 「切手整理」 一 同
9. インフォメーション 各 担 当
10. お誕生日祝い・ニコニコ献金 一 同
11. 閉会点鐘 石津 雅人会長

10月 第2例会

日時：2005年10月26日(水) 18:30~20:30
 場所：大阪YMCA土佐堀館 4階 (会場変更)
 *例会当番 3班 (藤原、中村茂、三浦、鍛冶田、永島)
 *10月お誕生日 該当者なし

ASD-MENETTES としてアジア大会に参加して

坂本 千春

私にとって初めてとなるアジア大会は、アジア地域メネット事業主任という肩書きをいただいたの参加でした。

大会へは前日のACM (Asia council meeting) から参加しましたが、国際会議の進行の困難さを目の当たりにして、会議を主宰しているアジア会長で、友人でもあるJanetのことがずっと気がかりでした。午後に始まった会議が終了したのは夜11時を過ぎていました。翌日は開会式とレセプションパーティがありました。私は、山田さんご夫妻の横に席をとることができ、知り合いが多いテーブルで楽しく食事をさせていただきました。

しかし、心の中では全く事前打ち合わせができていない翌日のメネット分科会のことが気がかりでした。やっと探し出した分科会の韓国側担当者に私のプランを話したところ
 (以下3ページに続く)

【 クラブ統計 Statistics 】

2005年9月		種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	15名	メ ン	12名	9名	9月:切手 300 gr.	9月:15,300円
		メネット	5名	0名	現金 1,000円	(05年7月~05年9月の)
例会出席	12名	ビジター	0名	0名	(05年7月~05年9月の)	累計: 41,689円
うちメークアップ	1名	グ ス ト	0名	0名	累計:切手 830 gr.	[クリスマス献金、オークション、
出席率	86.7%	合 計	17名	9名	現金 2,000円	記念献金を除く]

聖書のこの箇所は、「サウロの回心」と言われる有名な箇所です。サウロ（後のパウロ）ははじめ熱心なユダヤ教徒で、キリスト教徒を迫害していました。

この不思議な体験以来、パウロはキリスト教信者弾圧から一転して、イエスの言葉を熱心に伝えるようになりました。その後、パウロは大旅行を3度もして、アジアでの宣教に努めました。彼がいなかったら、キリスト教はこれほど世界に広まらなかったと言われていています。

彼の宣教活動は受難続きでした。この聖書の箇所を読む度に、私達の無力さを感じます。しかし、反面、少しでも彼に近づくように努力する勇気も与えてくれます。

（聖句選、コメント：谷川 寛）

9 月 第 1 例 会

【 Report of the September Club Meeting】

9月21日(水) 1830~20:45

リーガグランドホテル・5階 桂の間

藤原 正巳

09月はメネットの月。福永滋子メネットの司会、谷川有美子メネット会長による開会点鐘と、メネットの皆様が例会の運営を全て担当され、華やかに開催されました。当月はビジター、ゲストの出席はなく、メン12名、メネット5名、合計17名出席と、最近の例会にしては賑やかな例会でした。

○山田孝彦メンの聖句朗読の後、当月例会のハイライトとして、チャーターメンバーである中村隆幸メンから「ワイズと私」と題する卓話と、先般ソウルで開催されたアジア地区大会出席者よりのレポートが発表されました。

○中村隆幸メンは、今では数少なくなったチャーターメンバーのお1人ですが、1974年に土佐堀クラブに入会された以降の様々な活動を熱心に語られました。ワシントン国際大会をはじめ、数多くの国際大会に参加された体験は大変興味深く、米国のワイズ活動が盛んだった頃の古き良き時代のワイズの雰囲気がよく伝わりました。

特に、故鈴木謙介メンが1975年に国際会長として打ち出された標語、「Encounter on the Y's men's Road」こそワイズ活動の真髄であることがよく理解できたレポートでした。

○続いてアジア大会参加の皆様より夫々の感想が発表されましたが、中でもアジア地区メネット事業主任として、アジア大会に初めて参加され、メネット部会を成功裏に主宰された坂本千春メネットの活躍は特筆に値するものでした。

（参加の皆さんのレポートは、3ページに特集しています。）

○インフォメーション、お誕生日祝いの後、谷川有美子メネット会長の点鐘で閉会しました。

On September 21, the club's September meeting was held at the Rihga Grand Hotel, Osaka with a total of 17 Y's men, and Y's menettes in attendance. With its emphasis on "Y's menettes' activities" this month, Y's menettes presided the meeting accordingly.

The highlight of the meeting was a speech made by one of our charter members, Dr. TAKAYUKI NAKAMURA. He cited a lot of interesting experiences at the International Conventions he participated, referring to the well-known slogan, "Encounter on the Y's men's Road," advocated by the late PP KENSUKE SUZUKI.

Ms. CHIHARU SAKAMOTO, Y's menette of our club and ASD-Menette, then reported her experiences at the 21st Asian Convention held in Seoul, Korea on August 26-28, 2005. Following her report, other participants of the Convention reported their experiences respectively.

The details of their reports were on the page 3 of the Bulletin.



（谷川メネット会長と司会の福永メネット）



（熱心にワイズ活動を語られる中村隆幸メン）

アジア大会特集

アジア大会に参加して

石津 雅人

5年ぶりのソウル迄の道のりは大阪から福岡まで夜行バス、福岡から釜山まではジェットホイル、釜山からはKTX(新幹線)を利用し、ソウルに着いたのは午後7時でした。

翌日、大会初日の会場、COEX Convention Centerへは早めに出かけ、地下のショッピングモールで買い物をしていると、2人の日本のワイズメンに出会いました。精神的にも時間的にもゆとりのある、初めての大会参加でした。

開会のセレモニーと講演のあと、韓国の音楽と舞踊を楽しみ、夜の晩餐会では、タイ、シンガポール、韓国のメンバーと交流することができました。

2日目は分科会でしたが、「1人だけの分科会」でソウル歴史博物館、徳寿宮、仁寺洞を楽しんできました。夕刻、教育文化会館での晩餐会に出席し、韓国のメンバーと交流を図りました。3日目は各分科会の報告と閉会のセレモニーで大会は終了しましたが、その後の昼食で参鶏湯が食べられたことは嬉しいことでした。「終わり良ければ全て良し」ですかね。

帰りにはプサンに1泊し、来年の国際大会の下見をしてきました。来年の大会には1人でも多くのクラブメンバーと国際大会を楽しみたいものです。国、言葉、文化などの違いがあっても、YMCAを軸としてワイズメンズの活動がアジアの各地で行われているのを感じた大会でした。

アジア大会を口実に韓国旅行も満喫でき、大満足でした。
以上

☆☆☆☆☆☆☆☆

ASD-MENETTESとしてアジア大会に参加して

坂本 千春

(巻頭言より続く)

ろ、26日のみの登録の人が多く、明日韓国5区メネット主任は誰も参加しないだろうといわれて唖然としました。

これはでは日本人のみのメネット分科会になるだろうと覚悟を決め、翌日の分科会に臨みました。分科会では、アジア地域11区(日本2、韓国5、フィリピン、東南アジア、台湾、スリランカ)のメネット事業主任のメーリングリストの作成すること、及び各区の年間プロジェクトの発表・意見交換と、参加者の交流が主たる目的でした。

当日の参加者は30名ほどで、東日本区からはメネット事業委員長をはじめ関係の方々に参加して頂きました。嬉しいことに韓国からはKorea West、Korea South両区のメネット事業主任と数名のメネットが参加され、またSoutheast区タイから女性メンバーの参加がありました。

分科会の進行はKorea Center区メネット書記Cheong

Kyung-Jooさんによって行われ、最初に東日本区、西日本区の今年のプロジェクトが発表されました。

その後Korea West、Korea Southメネット事業主任から両区ではメネット活動は活発ではなく、日本のようにプロジェクトを実施していないこと、日本のメネットの活躍を聞いて今後活動を活発化していきたいこと、などの発言がありました。他区の情報を知り互いに刺激しあうことが今回の分科会の目的だったので、大変嬉しく思いました。

引き続きKorea Center区メネット書記のCheongさんからCenter区の年間プロジェクトの発表、前年度アジア地域メネット事業主任の藤井さんから前年のプロジェクトStop-HIVエイズプロジェクトについての報告がありました。英語を仲立ちにした日本語、韓国語での交流でしたが、何とか所期の目的を達成することができました。

今後の目標は、早期にメネットのメーリングリストを完成し、メネット同士で接触が図れる体制を作ることと、アジア地域のホームページにメネットコーナーを立ち上げることです。
以上



(メネット分科会で発表される坂本メネット)

☆☆☆☆☆☆☆☆

アジア大会参加・韓国の旅

山田 孝彦

第21回アジア大会は、8月26日から28日まで韓国のソウルで開催されました。センテニアルからは、石津会長、三浦直之メン、山田孝彦メン、坂本千春メネットの4名が参加しました。国際大会常連参加の谷川メンが欠席、いつも同行していた鈴木メン、栗山メンの姿がないのが寂しく感じられました。日本からの参加者数は東日本区から90名、西日本区から120名、坂本メネットは大会2日目のワイズメネット分科会でレポーターとして発表されました。

大会受付のある2階へ上るエスカレーターの手前には、大きなテーブルの上に各種ドリンクやおつまみが用意され、「まずはここで一杯どうぞ」としきりにすすめられました。2階に上がってその訳が分かりました。登録カウンターは大混雑、一組しかない登録者名簿には、ルーペでもない見えにくい小さなローマ字で名前が羅列されている。それも順不同で、複数のご婦人が1枚の名簿に頭を寄

《次ページに続く》

名前を探す。ついには日本のメンバーが中に入って仕分けをする始末。一騒ぎの後やっと会議場につくともう開会。

大会中での食事はいわゆる洋食スタイルで、やや期待はずれでした。最後のお別れの昼食が韓国スタイルだったのですが、この時はもう慌しい解散の時に、食事を楽しむような気分ではありません。そこで観光中に出会った韓国料理に触れてみましょう。

「韓国といえばキムチ」と勝手に決め込んで、あの強烈な匂いを恐れていた私の予想は見事に外れました。「石焼ビビンバ」「海鮮なべ」「チジミ」「サムゲタン」といった代表的な韓国料理を食べました。そのいずれにもキムチがあらわれていたと思うのですが、私の想像していた「強烈な匂い」はどれにもなかったのです。

ガイドさんの説明によれば、オリンピック、ワールドカップなどの国際交流を機に、「キムチ」は韓国家庭料理の味として封じ込められたとのこと、そのせいか若者のキムチ離れが目立つという。いつも思うことですが、国際大会というのは外国のワイズメントの交流もさりながら、日本各地から参加するワイズメント、バスやホテルや観光を共にする中で新たな交流ができたり、旧交を深めたりする、これがワイズの醍醐味だと改めて感じたことです。以上

☆☆☆☆☆☆☆☆

アジア大会参加報告

三浦 直之

8月25日、大韓航空で仁川（インチョン）空港に到着、大変広く、清潔感のある空港でした。到着後バスで北朝鮮がすぐそばに見える統一展望台を見学、雲の合間から対岸の地を眺めました。8月26日、午前中はホテルの近辺を散策しました。車は右側通行、ハンドルも左ハンドルが標準で、違和感があります。ソウルの中心部は交通渋滞が激しく、排気ガスで環境はよいとは言えません。

午後 COEX での大会のオープニングに出席、引き続き夕食会にも参加しました。8月27日、板門店見学ツアーに参加、シーンと静まりあった中、南北の軍隊が覗み合っており、不気味な緊張感を感じました。市内に戻り、夕食会では東京セントラルクラブの石井、谷治、田村メンと、また、6月のデファレンスデーでお世話になった東京コスモスクラブの林ご夫妻にお会いしました。

8月28日、大会の最終日、ユースの活動報告などがありましたが、若いときから国際的な雰囲気を受けている彼らの今後が楽しみです。大会終了後、数人で南大門市場や国立民族博物館を見学、南大門市場は非常に混雑を呈していました。8月29日、ツアー最終日、韓国民族村と高麗青磁の産地、利川（イチョン）窯元を見学しました。訪韓前は反日感情が気がかりでしたが、現地で見聞した限りではそういう経験はなく、むしろ親切な人々に数多く出会いました。今回のツアーでは、異文化と触れ合い、他のワイズの人々と交流し、楽しく意義のある大会参加でした。

以上



(開会式を飾る韓国民族舞踊)

IBCクラブニュース

藤原 正巳 (IBC・DBC委員長)

"Aloha from Hawaii":

ハワイヌアヌクラブ、8月・9月号プリテンから抜粋

○8月例会はヒラナカさん宅でボラックディナー

同クラブの8月例会は、8月1日ヒラナカさん宅でボラックディナー形式で行われました。会員が夫々食べ物を持ち寄り、わいわいがやがや賑やかなディナーだったようです。なかなか家庭的で良いですね。

○アラスカへの豪華客船によるクルーズのお誘い

ヌアヌクラブのモーリス・シモニさんから、来年7月シアトルからアラスカへの豪華客船によるクルーズの案内が来ています。現在判明している内容については8月例会の席上案内した通りですが、ヌアヌクラブの参加者次第ではクルーズ船上でのプラザークラブ交流を考えたいと考えています。詳細が判明した段階で改めて皆様のご希望を伺い、対応を検討させていただきます。

○恒例のBBQチキンセールが開催されます

同クラブ最大のファンド作り行事であるバーベキューチキン販売が9月18日の日曜日に開催されます。クラブ員が早朝から総出で数百羽のチキンを販売する大掛かりなイベントです。成功を祈念します。

○Foodland社チャリティーセールでファンド作り

ハワイ最大のスーパー・Foodland社との提携による全島あげでのチャリティーセールが9月一杯開催されます。期間中Foodlandで買い物すれば、1ドルにつき20セントが購入者の所属する団体に還元されます。但し、買い物の上限金額249ドルです。日本でもやって欲しい！！

"Bauhinia News"

今月は特記事項はありません。

9 月 第 2 例 会

【 Report of the Executives' Meeting 】

(9月28日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)
出席:石津、鍛冶田、富中、永島、福永、藤原、松浦、
三浦、山田、

1. 10月例会プログラムを決定
第1面のとおり。スピーカーは、西日本区ファンド事業主任、
オードリ・ギルグ氏。あわせて未整理切手の整理を行う
こととした。ハサミの持参など会員への呼びかけは、
例会案内時に実施の予定。
2. 11月例会以降の例会プログラムを検討
11月は鍛冶田千文さん。テーマは「大阪YMCA表現・コ
ミュニケーション学科」と発達障害の子どもたちについて、
12月は納会。1月は石津雅人君の「ナノテクノロジーとユ
ビキタス社会」。2月以降は「人間関係トレーニング」「役に
立つ救急・救命法」「朝鮮通信使について」など、順次実施の
予定。併せて来年度ディファレンスデー行事につき、検討の
必要性を確認した。
3. 決算・予算につき検討
決算内容と今後の対策につき、詳細な検討を行った。
具体的な内容については、10月例会にて報告・審議の予定。
4. その他
次期クラブ会長の選出、各種行事などにつき話し合い
を行った。

以上

お 知 ら せ

1. 第9回中西部会・合同メネット会
秋の1日ワイスの未来を語ろう!
10月10日(祝) 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
13:00~14:00 合同メネット会
14:00~15:00 昼食
15:00~18:00 中西部会
「21世紀に生き残れるか! YMCAとワイス」
2. 第9回中西部・合同新年会
美しい地球を子供たちに!
06年1月7日(土) 13:15~17:00
講演:高木 善之氏 「美しい地球を子供たちに」
会場:pia NPO(大阪市港区築港)
会費:4,000円
3. YMCA土佐堀カーニバル
11月3日(祝) 大阪YMCA土佐堀館 11:00~15:00
センテニアルクラブは、バザーを担当します。当日は献
品をご持参の上、ご参加下さい。

YMCA ニュース

大阪YMCA国際専門学校 鍛冶田 千文

- 大阪YMCA早天祈祷会
日時:10月21日(金) 7:30-8:30
証し:牟大盛氏(大阪ワイズメンズクラブ)
- 指導者養成講習会(日本介護予防指導者協会)
日時:①2005年10月3日(月)~5日(水)
②10月26日(水)~28日(金)3日間
場所:大阪YMCA会館
内容:介護予防概論・介護予防マネジメント・
転倒予防論・高齢者の栄養学・レクリエーシ
ョン演習・他全10講座22時間
受講対象者:ホームヘルパー1級、2級、福祉施設・
高齢者施設での実務経験2年以上ほか詳細はお
尋ねください。
参加費:80,000円
*修了試験に合格された方は「介護予防(転倒
予防)トレーナー」認定
問合せ先:日本介護予防指導者協会(大阪YMCA会
館内)06(6441)0815
- キリスト教フォーラム シリーズ3
キリスト教に関する素朴な疑問にお答えします!
日時:11月10日(木) 19:00~20:30
内容:イエス・キリストは神なの?
講師:岡村恒氏(日本キリスト教団大阪教会牧師・
土佐堀YMCA運営委員)
場所:大阪YMCA会館
参加費:300円

9 月 B F ニュース

【Report of the Brotherhood Fund in September】

山田 孝彦(書記)

- ◇切手提供者:石津、山田、谷川、田中、福永君
計 300gr
- 今月の殊勲賞:山田君 170gr
○現金提供者:山田君 1,000円
- ◎10月「BF強健月間」のポイント
オードリ・ギルグ西日本区ファンド事業主任
- ・集めた使用済み切手を整理しながら、BFの意味を
話し合いましょう。
 - ・BF代表の報告を聞くチャンス設け、他国のワ
イスについて学びましょう。
「西日本区ロースター2005~2006、強健月間
リストより抜粋」



“ごさだ”メッセージ

会員からのメッセージ

○中村隆幸メンのお話にありましたように多くの人々との出会いがワイズの良さだということをソウルのアジア大会に出席して体感してきました。(石津 雅人)

○あまりお話したことのない隣におられた「オジサマ」のお話を聞きました。その方の深くて長い歴史を知り「オジサマ」が生き生き輝いてみえ尊敬の念でいっぱいになりました。(鍛治田 千文)

○今日はメンバーのみの例会でアットホームな感じで楽しかったです。中村MenのYsとのかかわりのお話は義父から聞くYsの話ともリンクして興味深く聞かせて頂きました。(坂本 千春)

○韓国、トルコのチョコレートと興味あるお話ありがとうございました。楽しいメネット例会でした。(隅田 恵子)

○今月は中村ドクターより大変なつかしいお話を聞かせていただき有難うございました。(田中 穰二)

○今月はゲストの出席なしの身内だけの例会でしたが和気あいあいの楽しい例会でした。メンバー数は少なくなりましたが結束は相変わらず固いことを確認しました。(谷川 寛)

○9月はメネット月間としてメネットの司会による和気あいあいの例会。今月はゲストがなくて淋しいような気楽な例会。「ワイズに入ったことを通じてどんなに世界の人々と長年親しく交流させて頂いたことか」という中村メンによるスピーチは長いYs交流の良さの話としてしっかりと心に響きました。(谷川 有美子)

○“世界とつながっているワイズ”を実感するような中村隆幸さんのお話を興味深く伺いました。(中村 茂高)

○ワイズメンズクラブに入会した時の原点に戻りワイズメン活動に積極的に参加し、あらたな人々と知りあえる喜びを味わいたいと思います。(中村 隆幸)

○8月はほとんどキャンプ場で過ごしていました。9月に入って四国の阿南海洋センター、沖縄の渡嘉敷島のキャンプを終えてやっと今夏のキャンプも一段落です。これからはワイズ活動も頑張らねばと思っています。(富中 彬)

○忙しさに反比例して頭が働かないのを何とかして克服したいと頑張っています。(福永 嘉彦)

○メネット月という事で司会をする事になり何とか責任をはたす事のみ……メンの方々例会にメネットをお連れ下さいます様に！中村様のワイズでの豊かなお交わりを楽しく聞かせて頂きました。(福永 滋子)

☆☆☆ ワイズの信条 ☆☆☆

- 1.自分を愛するように、隣人を愛そう
- 1.青少年のために、YMCAに尽くそう
- 1.国際的視野を持って、国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ、権利が生ずることを悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

もう一度ご確認を!

=====

○メネット月の9月の例会はいいですね。メネットさんの運営は華やかで明るく大変素敵でした。それに久しぶりにメン、メネット17名が集い賑やかな例会だったことも心嬉しい限りでした。今年が数え年で古希を迎えましたが、山田さんの聖句選にあった様に「これからも若者の如く、若者と共に働きたい」と思っています。(藤原 正巳)

○中村ドクターのYsを通じて多くの人々との出会いを楽しんで聞かせて頂きました。(松浦 和子)

○久しぶりにアットホームな例会でした。中村さんのスピーチを聞いて1970年代の日本と国際のワイズ&YMCAのもようと中村さんのワイズへの深いかかわりを知ることができました。人とのつながりは得がたいものがありますね。(松浦 孝次)

○中村Dr.のお話で「エンカウンター オン ザ ワイズ メンズ ワールド」の素晴らしさを再確認しました。国内外の知人を多く作るワイズメンズは素晴らしいと思います。(三浦 直之)

○ソウルのアジア大会に参加して韓国の近代国家としての発展ぶりを具体的に見聞きしてきました。これまでの韓国観のようなものがすっかり改まりよい体験でした。(山田 孝彦)

《 編集後記 》

暑さもほっと一息つき、ようやく秋がやってきました。1ヶ月ぶりに拝見する皆様のお顔にも、心なしか炎暑の夏を乗り切った安堵感が窺えたように思います。若い頃のように「馬肥ゆる秋」とはいきませんが、スポーツの秋、読書の秋、それに「ワイズの秋」を大いに楽しみたいものです。皆様、夏のお疲れが出ませんようご自愛のほどを!(藤原 正巳)

